

2023年 1月 吉日

各位

日本建築学会近畿支部材料・施工部会
近畿生コンクリート圧送協同組合

第19回圧送技術研究会開催のご案内

— コンクリートのポンプ圧送における脱炭素への取組み —

拝啓 初春の候、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、コンクリート圧送に対するご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、恒例となりましたコンクリート圧送・ポンプ工法に関する研究会も第19回を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

日本建築学会近畿支部材料・施工部会 ポンプ工法WGでは、近畿生コンクリート圧送協同組合と共同でこれまでに15回のField実験を行ってまいりました。実験では、土木・建築工事で一般的に扱われているコンクリートの他、高強度・高流動コンクリートやフライアッシュ、銅スラグ細骨材などを用いたコンクリートについても、圧送性や管内圧力損失（K値）、さらにはさまざまな問題点を把握・解決し、その成果を圧送技術研究会、ならびに日本建築学会大会で公表してまいりました。

ところで、WGが設立された当初と比較すると社会情勢は大きく変化しており、特にSDGsや脱炭素など環境問題に対する様々な取組みが盛んに行われております。我々が扱うコンクリートも、セメント製造時に大量のCO₂を排出することから、環境にやさしいコンクリートの開発が盛んに行われております。一方、施工面でも、打込まれずに廃棄されるコンクリート（残コン、戻りコン）を極力減らす取組みが脱炭素の観点から重要と捉えられております。

そこで本年度の第16回Field実験では、コンクリートのポンプ圧送の際の先送り材について調査・検討を行いました。コンクリート圧送の際にはまず、輸送管内面に浸潤性を付与する目的で先送りモルタルを圧送しますが、この先送りモルタルを含むコンクリートは躯体に打込まずに廃棄することが定められています。よってこれらを削減することが課題の一つとなっています。実験では、市販されている数種類の先送り材を用いて圧送を行い、使用方法の特徴、閉塞危険性、また先送り材がコンクリートの性質に及ぼす影響（筒先からの廃棄量）などを調査しました。

つきましては、本年度第19回圧送技術研究会を開催し、実験で得られた内容をご報告させていただきます。より良い構造物を目指して管理・監督の指導的立場にあられる貴職におかれましては、是非ともご出席（Web参加も含めて）を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時：2023年2月21日（火） 13:00～17:00

開催場所：①大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 3F 常翔ホール
〒530-0013 大阪市北区茶屋町1番45号

② Web 同時配信（研究会後1週間程度、動画視聴できるようにする予定です。）

参加費：①常翔ホール ② Web とともに3千円（※研究会資料込み）

参加費支払方法

- ：①当日常翔ホール受付にてお支払いください。
（その際領収書をお渡し致します。）
- ② Web 申込の方には郵便振替用紙をお送りいたします。
（なお、領収書は研究会資料送付時に同封いたします。）

申込み：日本建築学会近畿支部ホームページの「新着イベント」からお申込みください。

<http://kinki.aij.or.jp>

なお、会場参加ご希望の方は後記の「会場参加申込書」からもお申込み頂けます。

申込締切：2023年2月14日（火）

定員：350名 申込先着順

① 常翔ホール：200名（会場定員576名）② Web：150名

お問合せ：近畿生コンクリート圧送協同組合 ポンプ工法WG事務局

（tel：06-4393-8868 E-mail：pump-wg@kinatsukyou.com）

【Web参加のみなさまへ】

1. お知らせとお願い

- ☆申込締め切り後に申込時のメールアドレス宛にWeb参加用URLをお送りいたします。
- ☆視聴にはPCやタブレットなどの端末とインターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ☆**Youtube**の使い方、動作環境についてのご質問についてはお受けできませんので、予めご了承ください。
- ☆参加者のみなさまのインターネット環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。当方では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。

2. 「CPDプログラム」申請の皆さまへ

- ・CPD受講証明は、会場参加の方のみ受付させていただきます。
- ・また土木学会の建設系CPD協議会加盟団体CPDシステムをご利用の方は、各団体のルールに沿って、CPD単位の申請をお願いいたします。申請の提出方法等は提出先団体に事前にご確認いただくとともに、土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがありますので、あわせて事前に提出先団体にご確認ください。なお土木学会では他団体の運営するCPD制度に関する回答はしていません。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる留意事項とお願い】

1. 参加申込みにあたっての留意事項とお願い

- ① 新型コロナウイルスの感染状況等により、急遽開催の延期／中止または開催方法の変更をさせていただきますことがございますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。（その際は申込者にメール等でご連絡のうえ、Webサイトにも掲載いたします）
- ② 発表が一部録画映像となる場合がございます。

2. 大阪工業大学 梅田キャンパス 常翔ホール参加者へのお願い

- ① 発熱・咳等の症状がみられる方は、体調を最優先していただきご来場を控えてください。
- ② 研究会当日は、必ずマスクを着用してください。
- ③ 会場入口において検温を実施します。37.5℃以上の発熱が認められるときは参加をお断りしますので、予めご理解・ご了承ください。
- ④ 手指の消毒・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ⑤ 整列時や入退館時の際には人と人との適切な距離の確保にご協力ください。
- ⑥ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域に訪問歴がある場合は、ご来場を控えてください。
- ⑦ 万一、参加者の感染が確認された場合で、保健当局において他の参加者が濃厚接触者に該当すると判断された場合、全員にメール等でご連絡させていただきます。

以上

近畿生コンクリート圧送協同組合 宛

FAX : 06 - 4393 - 8895 または E-mail : pump-wg@kinatsukyou.com

「会場参加申込書」

第19回 圧送技術研究会			
「コンクリートの圧送における脱炭素への取組み」			
お名前	ご所属	役職	メールアドレス※
貴社（団体）名			

ご住所			

電話番号		FAX 番号	
_____		_____	

※新型コロナウイルスの感染状況等により、参加は全てWebに変更される場合があります。その場合は参加者にメールにてご案内させていただきたく、できるだけご記入のほどお願い申し上げます。

<p style="text-align: center;">第19回 圧送技術研究会（案） — コンクリートの圧送における脱炭素への取組み —</p>			
日 時	2023年2月21日(火) 13:00~17:00		
場 所	大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホール（大阪市北区茶屋町1番45号） Web同時開催(YouTube)		
共 催	一般社団法人 日本建築学会近畿支部 材料・施工部会 近畿生コンクリート圧送協同組合		
後 援 (予定)	公益社団法人 土木学会 公益社団法人 日本コンクリート工学会近畿支部 一般社団法人 大阪建設業協会 全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部 和歌山県生コンクリート工業組合 大阪兵庫生コンクリート工業組合 コンクリート用化学混和剤協会 一般社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会 一般社団法人 日本建設機械工業会		
司 会	福島 和将（ポゾリスソリューションズ株式会社）		
主催者挨拶	山崎 順二（一般社団法人 日本建築学会近畿支部 材料・施工部会 主査） 岸 繁樹（近畿生コンクリート圧送協同組合 理事長）	13:00-13:15	
来賓挨拶	（大阪府都市整備部事業管理室技術管理課）		
研究報告	報告1. 先送り材の現状 永田 哲夫（近畿生コンクリート圧送協同組合）	13:15-13:30	
	報告2. 実験に用いた先行り材の概要 河野 純子（近畿生コンクリート圧送協同組合）	13:30-13:45	
	報告3. 先送り材の物性把握およびコンクリート混入における影響把握のための室内実験 その1 山田 藍（株式会社竹中工務店）	13:45-14:10	
	報告4. 先送り材の物性把握およびコンクリート混入における影響把握のための室内実験 その2 小林 稔（株式会社竹中工務店）	14:10-14:35	
	15分休憩		
	報告5. 第16回 Field実験(2022)の概要 杉本 賢洋（株式会社オーテック）	14:50-15:05	
	報告6. 先送り材を用いた場合のフレッシュ性状と硬化コンクリートの特性について 三島 剛（株式会社フローリック）	15:05-15:45	
	報告7. 先行り材を用いたコンクリートの圧送時の管内圧力について 木村 芳幹（株式会社コンステック）	15:45-16:05	
	15分休憩		
	報告8. 無線ICタグを用いた流動過程におけるフレッシュコンクリートの加速度の定量化 橋本 親典（徳島大学大学院）	16:20-16:35	
報告9. 再生砕石を用いたコンクリートの圧送性評価 岩清水 隆（株式会社竹中工務店）	16:35-16:50		
総 評	中村 成春（大阪工業大学）	16:50-17:00	